

「自然エネルギー100%大学」をめざす取り組み 環境目標2「電気+ガス」は2024年度達成に向け再挑戦！

千葉商科大学(所在地:市川市国府台 学長:原科幸彦)は、2017年11月より電気とガスを含めたキャンパスの総エネルギー消費量に相当する再生可能エネルギーの発電により、「自然エネルギー100%大学」をめざす取り組みを進めてきました。

環境目標1「電気、すなわち消費電力に関する100%(RE100大学)」は2019年1月末に100%を達成し、2024年3月末でも120.2%でしたが、2024年3月末の達成をめざしていた環境目標2「総消費エネルギー(電気+ガス)に関する100%」の自然エネルギー率は95.9%となりました。環境目標2は今後も継続的に挑戦していきます。

◆達成状況 自然エネルギー率:創出エネルギー量を消費エネルギー(電気+ガス)量で割った値(小数点第二位以下切り捨て)

2023年4月～2024年3月の
自然エネルギー率

95.9%

2023年度目標100%

創出エネルギー量 41,143.0GJ

消費エネルギー量 42,865.9GJ

環境目標2「総消費エネルギー(電気+ガス)に関する100%」は、2024年3月末達成をめざしていましたが、メガソーラー野田発電所においてケーブル損壊被害(盗難)が3回発生。これにより発電量が低下し、自然エネルギー率は、推定でマイナス約4.2%となりました。この問題に対してはすでに防犯対策を強化しています。また、効率的な発電をめざして今後も定期メンテナンスを継続して行っています。

さらに、今年4月に竣工した千葉商科大学大木戸ソーラー発電所(千葉市緑区)は、6月20日より送電を開始しました。本学では初めてのオフサイトコーポレートPPAを活用した営農型太陽光発電設備であり、自然エネルギー100%達成に向けた大きな一歩となることが期待されます。

本学は、ケーブル盗難という新たな社会問題に直面しつつも、さらなる再生可能エネルギーの創出や既存設備の効率的な運用などを通じて、今後も引き続き、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

◆「自然エネルギー100%大学」への主な取り組み

2014年 4月	メガソーラー野田発電所で「太陽光発電事業」を開始
9月	政策情報学部教授らの研究グループが「自然エネルギー100%大学」をめざすことを発表
2017年11月	自然エネルギー100%大学に向けた環境目標を大学として宣言
2018年 3月	メガソーラー野田発電所の太陽光パネルを増設、市川キャンパスの全照明をLED化、EMS(エネルギーマネジメントシステム)を導入
2019年 1月	環境目標1「電気、すなわち消費電力に関する100%(RE100大学)」を達成
2月	市川キャンパス内の10棟屋上に太陽光パネルを増設し、全量自家消費をする
8月	電力調達も再エネ100%を導入。メガソーラー野田発電を主な調達先発電所として指定
2020年 6月	環境目標2「総消費エネルギー(電気+ガス)に関する100%」を達成 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響を一部の期間で受けて達成したため、目標時期を2021年3月末から2024年3月末に再設定
2024年 4月	千葉商科大学大木戸ソーラー発電所を竣工。想定発電量 約11万kWh(年間)

◆自然エネルギー率(1年間)の推移はWebサイトよりご覧ください。

https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/activity/environment/hairyo/index.html



【本件に関するお問い合わせ先】 千葉商科大学 経営企画室広報グループ
TEL: 047-373-9968 / E-mail: p-info@cuc.ac.jp